

平成28年度庄内支部第2回勉強会報告

テーマ：1症例検討会～腰椎破裂骨折後に下肢神経症状を呈した症例～
生活期における他職種連携を考える

日時：平成28年9月14日（水）19：00～20：30

会場：日本海総合病院リハビリテーション室

平成28年度庄内支部第2回勉強会の1症例検討会を9/14に日本海総合病院を会場に行いました。

今回で1症例検討会は、3回目の開催となり庄内支部恒例の勉強会となりつつあります。症例を決める難しさや準備の大変さなどから継続が危ぶまれたこともありましたが、前回参加者の方々から継続を望む声を頂き、今年度も開催する運びとなりました。過去2回は急性期と回復期の経過を追った内容でしたので、今回は生活期に焦点をあてました。

症例の経過は、急性期を日本海総合病院の佐藤克実先生に、生活期を介護老人保健施設「うらら」の矢島慎也先生に報告して頂きました。その後、グループ・ディスカッションで施設退所後のデイケア、訪問リハビリを行う上で、理学療法士としてどのような予後予測、目標設定、アプローチを行うかを議論しました。ディスカッション後に実際の在宅での経過と結果を報告して頂き、予測以上の回復をとげられており、研修会の最後のエンドロールムービーでは利用者さんから「皆さん勉強頑張って下さい」と我々への激励のメッセージもあり、会場が感動に包まれました。

平日の勤務後にお集まりいただいた参加者の皆様、大変お疲れ様でした。また、座長の介護老人保健施設 明日葉の遠藤友紀先生、発表して頂いたお二人の先生方に深く感謝いたします。

（文責 秋野千穂）



